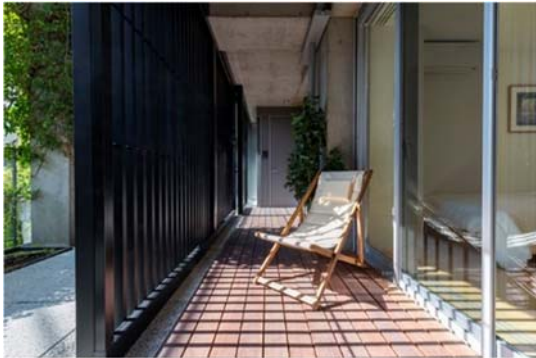


建物名称	NEXT21 302・303W・303E 住戸「自在の家」	
所在地	大阪府大阪市	
施工年	2020 年	
構造・構法・規模	B1～2 階：鉄骨鉄筋コンクリート造 3～6 階：プレキャストコンクリート+鉄筋コンクリート複合構法 地上 6 階・地下 1 階 延床面積 4,577.2 m ²	
事業者名	大阪ガス株式会社	
設計者・施工者 (改修業者)	住戸設計：設計組織ADH 木下庸子氏・渡辺真理氏 施工者：クラディング改修 株式会社森組、 インフィル施工 株式会社イシマル 住戸計画監修： 京都美術工芸大学教授 高田光雄氏、 東京大学教授 清家剛氏、 立命館大学教授 近本智行氏、 集工舎建築都市デザイン研究所 近角真一氏、 工学院大学教授・設計組織ADH 木下庸子氏	
増改築・リフォーム の種別	大規模な模様替え	
増改築・リフォーム のテーマ・特徴	この「自在の家」は、5 つの室空間が居住者のライフステージに合わせて自在に結合・独立することにより、一つの大きな住宅、複数の中規模の住宅、さらには 5 つのワンルーム、5 室からなるシェアハウス、と様々に変化する住宅。これにより、最小限のリフォーム工事で、長期にわたって使用できる。 また、通風の仕組みを備えた建具が随所にあり、プライバシーを確保しながら、通風を取ることができ、空調エネルギーの削減にも配慮している。	
採用された 環境共生要素技術	省エネ	エネファーム typeS (302 住戸)、 自然換気窓を装備した建具(一部が上げ下げできる、スリット窓が開閉できる等)
	省資源	太陽光発電(設置場所は屋上、302 住戸と 303W 住戸)
	親和性	住戸の共用通路として使える「ウチドマ」
	健康快適	ガス温水床暖房、自然換気窓を装備した建具(一部が上げ下げできる、スリット窓が開閉できる等)
先導事業・認定等 の取得	なし	



住戸前の緑地に面した「マエニフ」。住戸と屋外との接点。



5 つの室への行き来をコントロールできる「ウチドマ」。



⇔





⇔



プライバシーを確保したまま開閉できる通風窓

増改築・リフォーム による効果	プライバシーや人の動線コントロールをしながら、南北に吹く風を住戸内に取り込むことが可能。エネファームと太陽光発電のW発電により一次エネルギーの削減。
--------------------	--